

7月24日、大雨の影響で長崎県平戸市の生月大橋のがけ崩れが発生し平戸島と生月島が全面通行止めになりました。

長崎県で応急対策を行い、片側交互通行が可能となりましたが、夜間はがけ崩れの状況が目視で監視できないため、国土交通省の照明車を設置しております。11月現在でも、夜間は照明車の明かりでがけ崩れの状況を目視で監視しながら片側交互通行を行っています。



照明車が災害箇所を照らしている近景写真です。



夜間片側交互通行の状況写真です。右側に照明車が確認出来ます。